

局長挨拶

平成24年度の森林・林業技術等発表会の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、こうして多数の方にお集まりいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

この発表会は、今回で58回目を迎えることができました。このように長きにわたり開催することができたのは、一重に皆様方の御支援の賜と感謝申し上げます。

また、本日の開催に当たり、審査委員として、森林総合研究所多摩森林科学園の吉丸園長、宇都宮大学名誉教授谷本先生、東京大学農学生命研究科白石教授様には、大変お忙しい中ご出席をいただき、厚く御礼申し上げますとともに、本日の審査及びご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、森林・林業の再生に向けて、森林施業の集約化、路網整備の加速化、林業機械作業システムの導入、木材の加工・流通体制の改善、人材の育成などの諸課題に対して国有林、民有林の各々の現場において、様々な工夫や技術開発等を進めているところでございます。

このような状況を踏まえ、平成24年度の森林・林業技術等発表会には、当局管内の独立行政法人、都県、市町村、林業事業体等の民有林関係者にも幅広く参加を呼びかけ、各地域の試行的な取組によって得られた新たな技術や知見等を多くの関係者が共有し、さらなる改善に結びつけ、地域林業の再生に寄与することを目的として開催致しました。

本日発表される26課題のテーマは、大変多岐に亘っており、発表者それぞれが、日頃の業務の中で疑問に感じることや解決しなければならない問題を自らに課し、問題解決に向け真摯に取り組んできた姿勢が伺えます。このような取り組みこそが我が国の森林・林業木材産業の技術力向上に繋がるものだと思います。

本日発表される皆様におかれましては業務の傍ら発表準備等で大変だったと思いますが、様々な面で良い経験になると思います。しかし、このような場で発表を行う事は、自らの研究内容の問題点をはっきりと認識し、技術力を向上させる良い機会であると思います。

最後に、本日の発表会の成果が少しでも、我が国の森林・林業、木材産業の発展に貢献できますことを祈念いたしまして開催に当たっての挨拶とさせていただきます。